さわやかだより

健康福祉センターさわやか　☎76－4006

乳がん・子宮がん検診をうけましょう！

がんは「こわい病気」だと思ったことはありませんか？今、日本では3人に1人が「がん」で命を失っています。

たった一個の細胞から発生するがん。それが、長い長い時間をかけて成長していきます。

でも、早めに見つけて、早めに治療すれば、がんは決してこわい病気ではありません。

今回は女性のための乳がん・子宮がんのお話です。

乳がん

乳腺にできる悪性腫瘍です。

発症率が高いのは40歳以上です。出産経験がない、初産年齢が30歳以上、初経が11歳以下、家族に乳がん患者がいる、肥満の人は要注意です。とはいえ、女性ホルモンががん細胞の成長を助けるので、すべての女性に起こる危険性のある病気です。

代表的な症状は乳房の「しこり」です。しこりに気づいたら、しこりが良性か悪性かを診断するために「乳腺外科」「乳腺科」などの専門医を受診しましょう。

最も早期では自覚症状がないため、検診が早期発見の機会です。乳がんは早期発見できれば治癒率が高く、手術でも乳房を残せる確率が高くなります。

子宮がん

子宮にできる悪性腫瘍です。「子宮頸がん」と「子宮体がん」の2種類あります。

子宮がんのほとんどが子宮頸がんで、子宮の入り口にできるため、発見もしやすく、治療もしやすいがんです。子宮がん検診は通常、頸がんを発見するために行われます。

頸がんの原因は、99％以上がヒトパピローマウイルス（HPV）感染によるものです。

HPVに感染しても、ほとんどの人は免疫力で自然に排除し、がんの原因にはなりません。

しかし、ウイルスが排除できずに感染が長期化（持続感染）してしまうと、頸がんへ移行する危険があります。そうなると子宮摘出や命を落とすこともあります。

検診では、がんになる前の段階（前がん状態）で発見できます。そのため、子宮頸がんは20～30代の若い女性で急増中ですが、検診でほぼ100％予防できる唯一のがんと言えます。

がんは誰にでも起こりうる病気です。

しっかりと備えておけば、決してこわい病気ではありません。誰のためでもない、未来の自分のために。勇気を出して、検診を受けましょう！

女性のための乳がん・子宮がん検診のお知らせ

■日程・会場

①平成26年1月23日（木）
健康福祉センターさわやか
②平成26年1月24日（金）
洞爺ふれ愛センター

■検診対象

乳がん検診……40歳以上の女性
子宮がん検診…20歳以上の女性

■検診料金

洞爺湖町国民健康保険加入者・70歳以上の方・生活保護世帯の方は無料。それ以外の方は有料（乳がん 2,000円、子宮がん1,500円）

■申込み・問合せ先

平成26年1月8日（水）までに、電話（洞爺地区は電話またはファックス）で健康福祉センターさわやか（☎76－4006）まで申込みください。
※詳しくは回覧チラシをご覧ください。

★伊達赤十字病院（乳がん・子宮がん検診）、石田内科胃腸科（子宮がん検診）では個別検診を受けることができます。各医療機関に問合せください。